

第 2 部

調査の結果

第2部 調査の結果

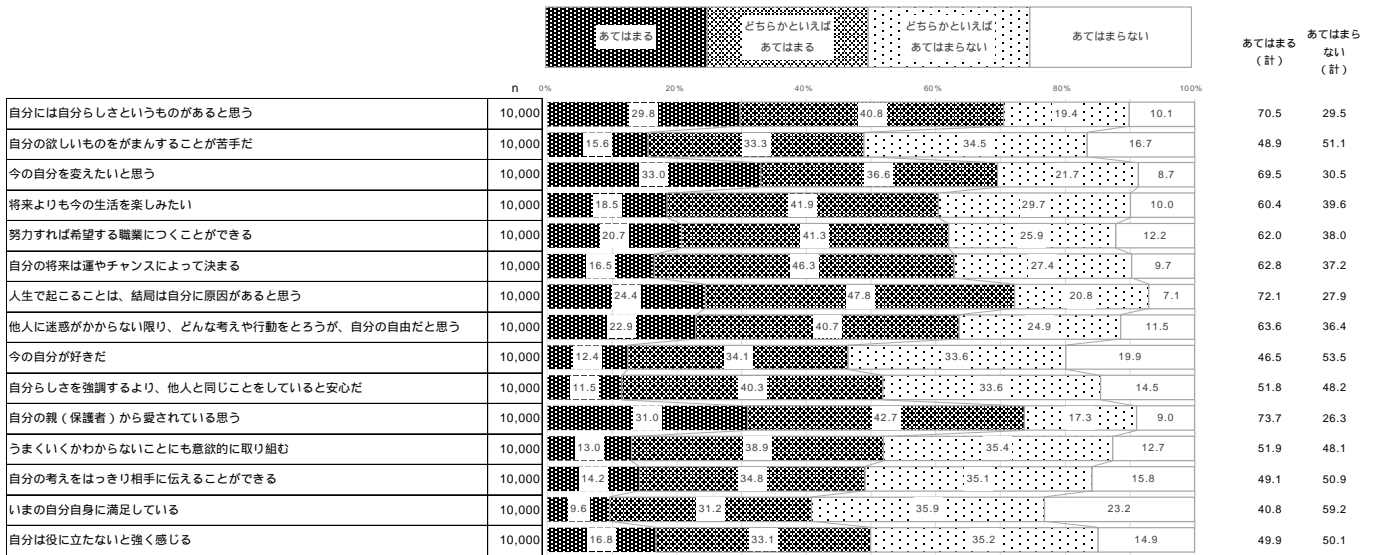
1 人生観・充実度

(1) 自己診断

Q1. あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。 [SA]

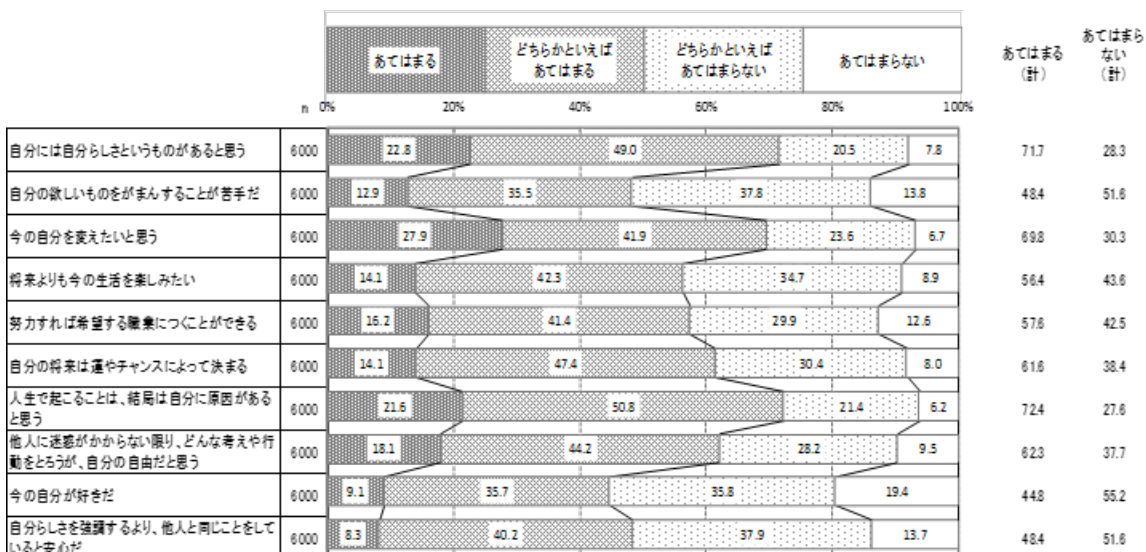
自己診断として、「あてはまる(計)」が最も高いのは「自分の親(保護者)から愛されていると思う」(73.7%)。次いで、「人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う」(72.1%)、「自分には自分らしさというものがあると思う」(70.5%)と続く。一方、「あてはまらない(計)」が最も高いのは、「いまの自分自身に満足している」(59.2%)、次いで「今の自分が好きだ」(53.5%)、「自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ」(51.1%)と続く。

過去の調査と比較すると、「あてはまる(計)」の割合は、「自分には自分らしさというものがある」、「人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う」、「今の自分を変えたいと思う」以外の項目において増加しており、「努力すれば希望する職業につくことができる」は4.4ポイント増加している。



<平成28年度調査結果>

Q. あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。 [SA]

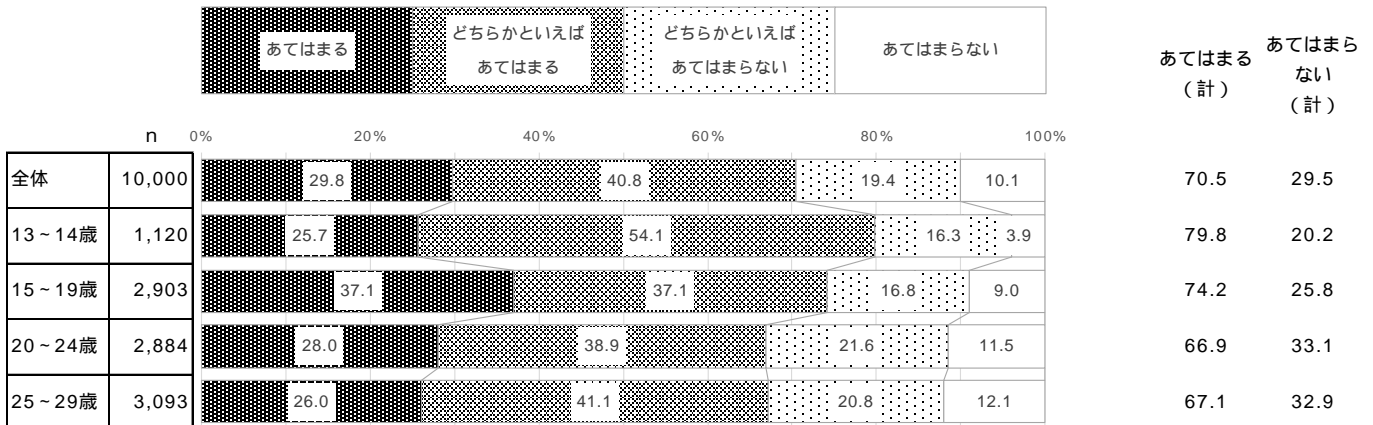


【自分には自分らしさというものがあると思う】

自己診断の【自分には自分らしさというものがあると思う】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(40.8%)。次いで「あてはまる」(29.8%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる」は“15～19歳”(37.1%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。「どちらかといえばあてはまる」は“13～14歳”(54.1%)が最も高く、全体よりも10ポイント以上高くなっており、有意差も認められている。

一方、「あてはまらない」は年代が上がるにつれて高くなっており、“20～24歳”(11.5%)、“25～29歳”(12.1%)は全体と比較した結果、有意差が認められた。

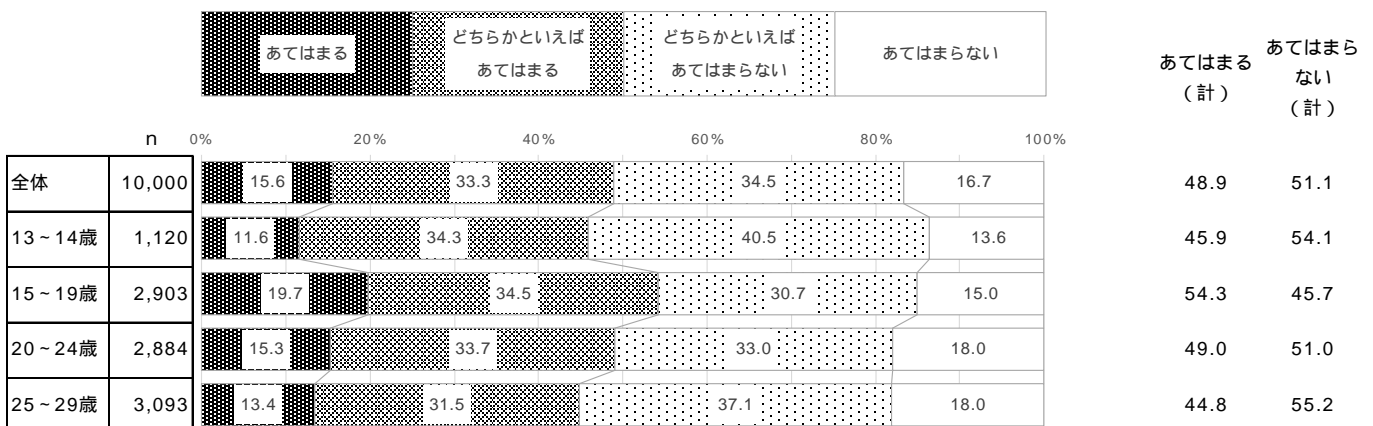


【自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ】

自己診断の【自分の欲しいものをがまんすることが苦手だ】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまらない」(34.5%)。次いで「どちらかといえばあてはまる」(33.3%)と続く。

年代区分別でみると、「あてはまる」は“15～19歳”(19.7%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

一方、「あてはまらない(計)」は“25～29歳”(55.2%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

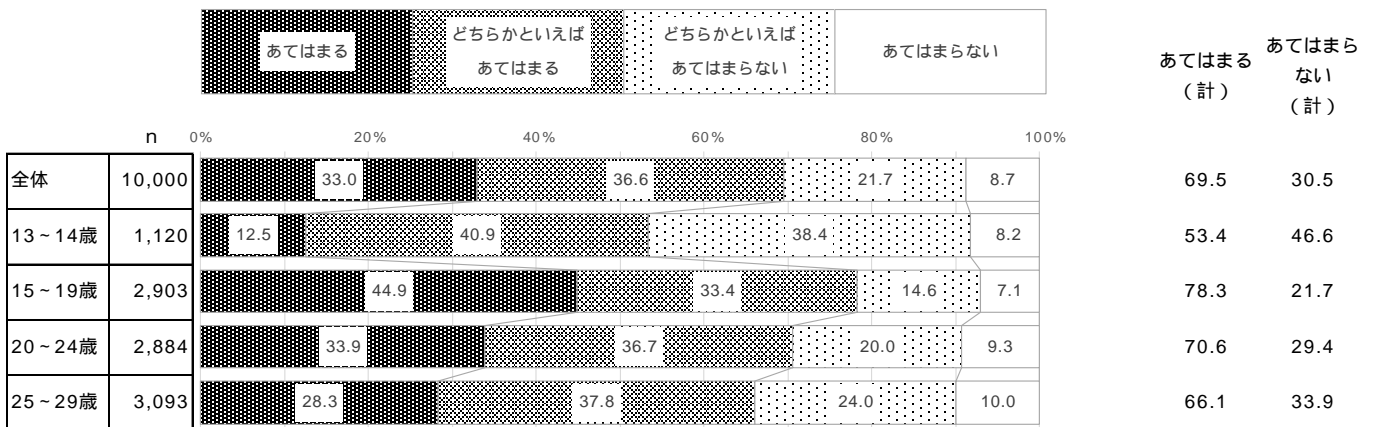


【今の自分を変えたいと思う】

自己診断の【今の自分を変えたいと思う】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(36.6%)。次いで「あてはまる」(33.0%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる」は“15～19歳”(44.9%)が全体と比べ10ポイント以上高く、有意差も認められた。

一方、“13～14歳”は全体と比べ15ポイント以上「あてはまる(計)」(53.4%)が低く、「あてはまらない(計)」(46.6%)も高くなっており、どちらも有意差が認められた。

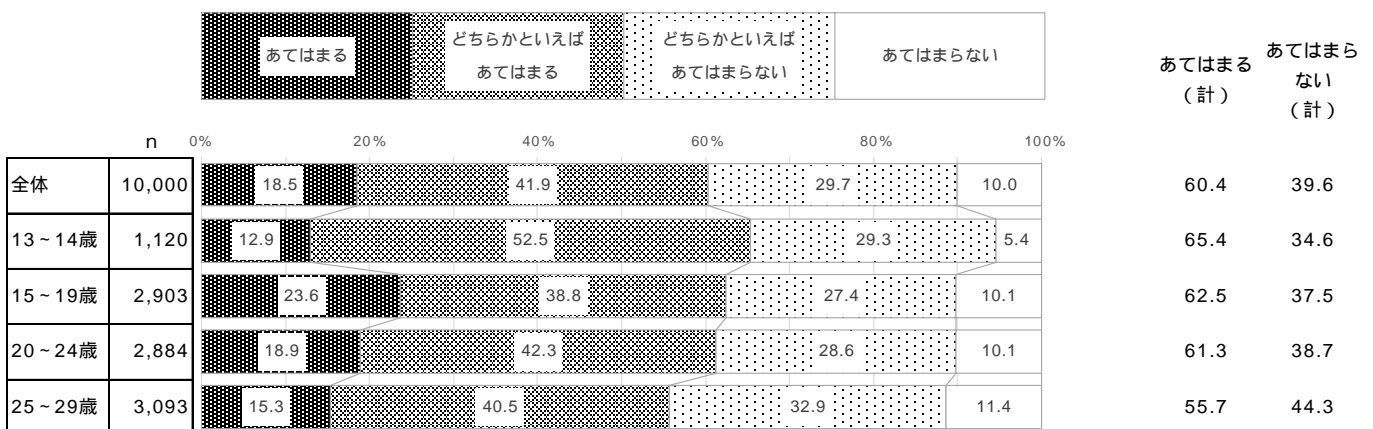


【将来よりも今の生活を楽しみたい】

自己診断の【将来よりも今の生活を楽しみたい】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(41.9%)。次いで「どちらかといえばあてはまらない」(29.7%)と続く。

年齢区分別でみると、「どちらかといえばあてはまる」は“13～14歳”(52.5%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

一方、「あてはまらない(計)」は年代が上がるにつれて高くなっており、“25～29歳”(44.3%)は全体と比較した結果、有意差が認められた。

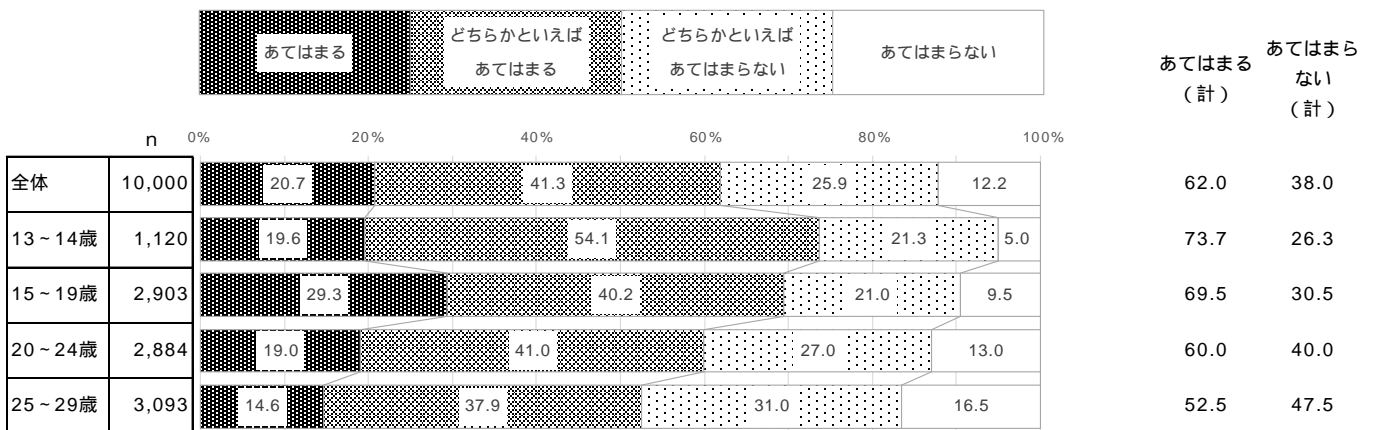


【努力すれば希望する職業につくことができる】

自己診断の【努力すれば希望する職業につくことができる】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(41.3%)。次いで「どちらかといえばあてはまらない」(25.9%)と続く。

年齢区分別でみると、“13～14歳”は全体と比べ、「あてはまる(計)」(73.7%)は10ポイント以上高く、また、「あてはまらない(計)」(26.3%)も10ポイント以上低く、どちらも有意差が認められている。

また、「あてはまらない」は年代が上がるにつれて高くなっており、“25～29歳”(16.5%)は全体と比較した結果、有意差が認められた。

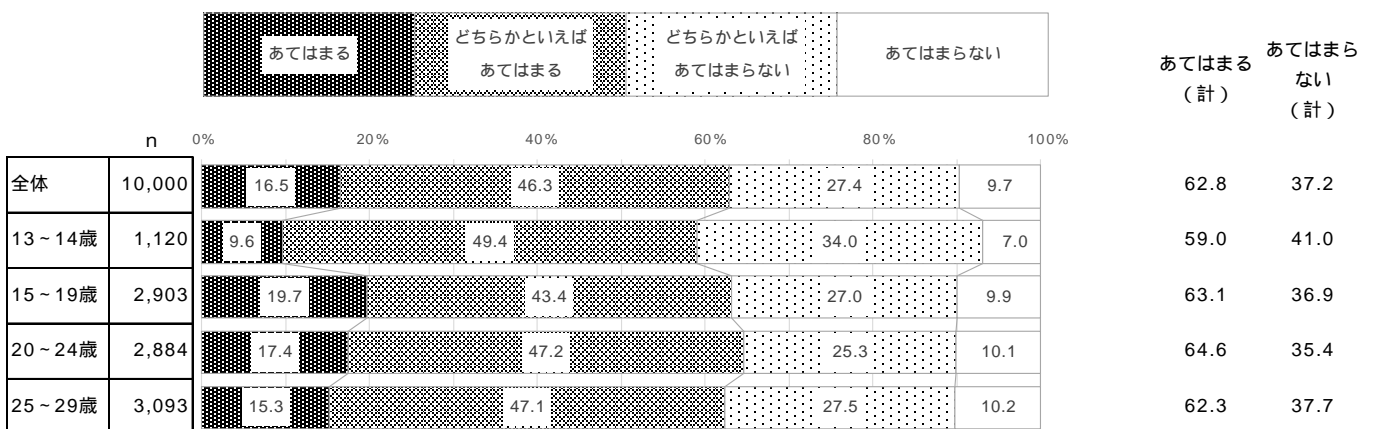


【自分の将来は運やチャンスによって決まる】

自己診断の【自分の将来は運やチャンスによって決まる】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(46.3%)。次いで「どちらかといえばあてはまらない」(27.4%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる」は“13～14歳”(9.6%)が最も低い一方、“15～19歳”(19.7%)が最も高く、全体と比較した結果、どちらも有意差が認められた。

また、「あてはまらない(計)」は“13～14歳”(41.0%)が最も高く、全体と比べ有意差が認められた。

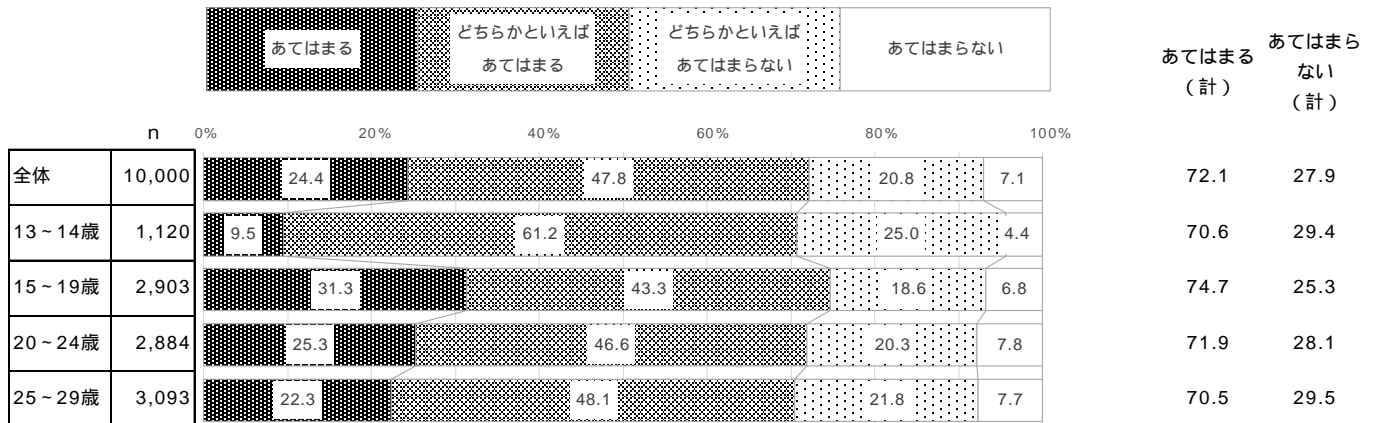


【人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う】

自己診断の【人生で起こることは、結局は自分に原因があると思う】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(47.8%)。次いで「あてはまる」(24.4%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる」は“15～19歳”(31.3%)が最も高く、全体と比較して有意差も認められている。

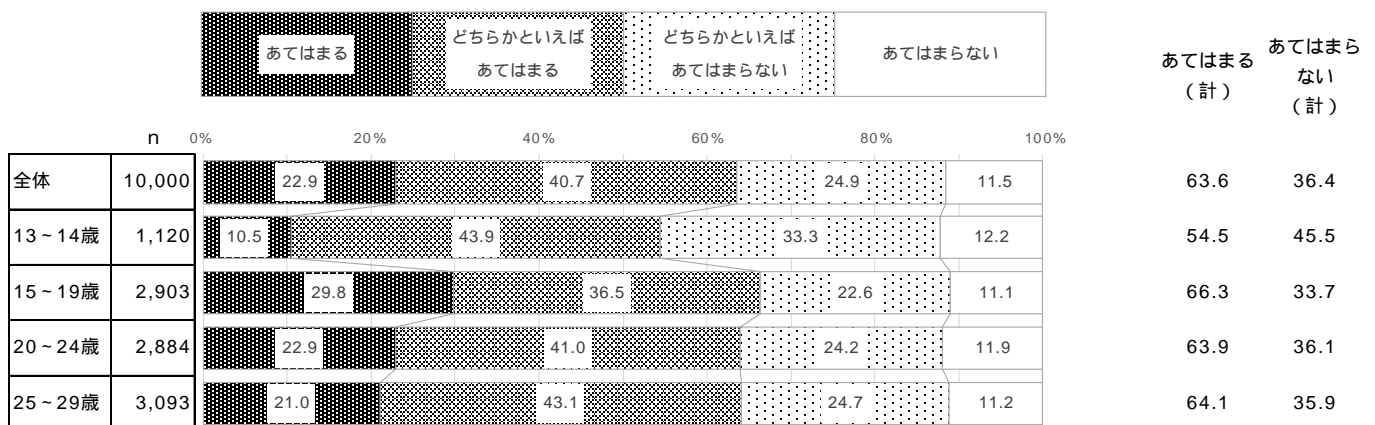
一方、「どちらかといえばあてはまらない」は“13～14歳”(25.0%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。



【他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う】

自己診断の【他人に迷惑がかからない限り、どんな考えや行動をとろうが、自分の自由だと思う】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(40.7%)。次いで「どちらかといえばあてはまらない」(24.9%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる」は“15～19歳”(29.8%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。一方、“13～14歳”の「あてはまる」(10.5%)は全体と比べ10ポイント以上低く、有意差も認められている。

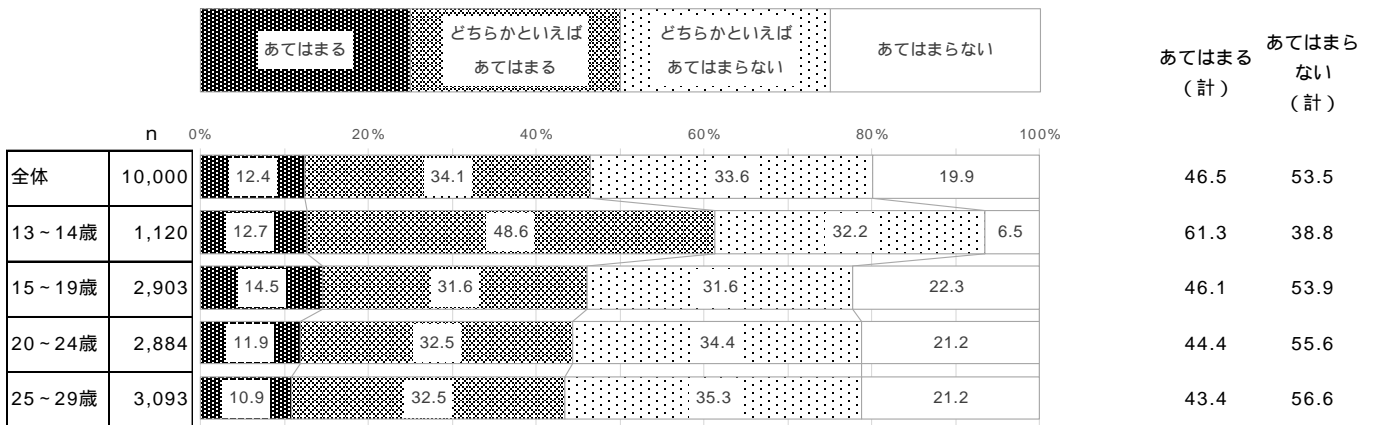


【今の自分が好きだ】

自己診断の【今の自分が好きだ】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(34.1%)。次いで「どちらかといえばあてはまらない」(33.6%)と続く。

年齢区分別でみると、「どちらかといえばあてはまる」は“13～14歳”(48.6%)が全体と比べ10ポイント以上高く、有意差も認められている。

また、年代が上がるにつれて、「あてはまる(計)」は低くなっている。

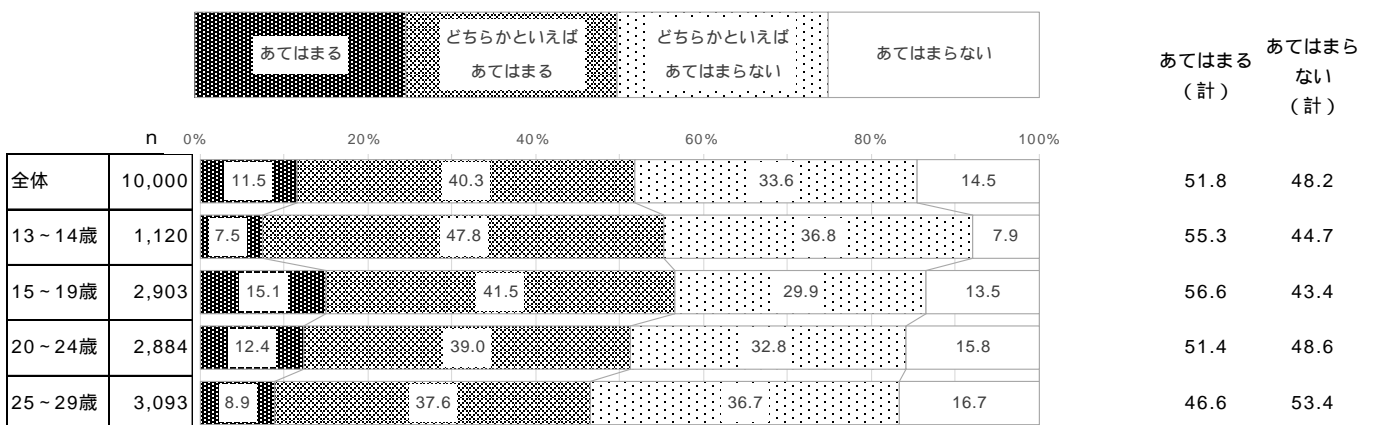


【自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ】

自己診断の【自分らしさを強調するより、他人と同じことをしていると安心だ】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(40.3%)。次いで「どちらかといえばあてはまらない」(33.6%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる(計)」は“15～19歳”(56.6%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

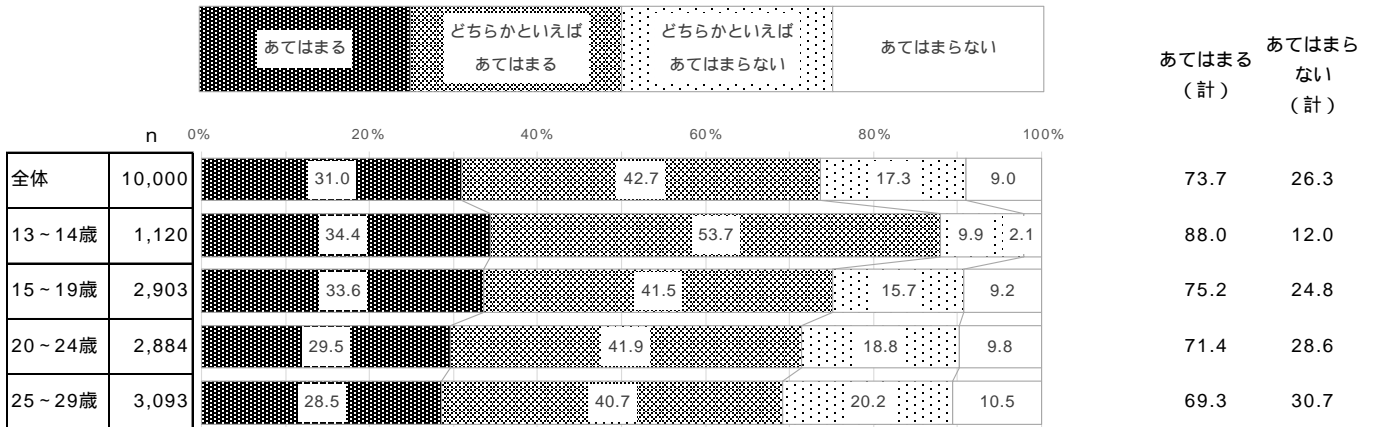
一方、「あてはまらない(計)」は“25～29歳”(53.4%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。



【自分の親（保護者）から愛されていると思う】

自己診断の【自分の親（保護者）から愛されていると思う】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(42.7%)。次いで「あてはまる」(31.0%)と続く。

年齢区分別でみると、“13～14歳”は全体と比べ、「あてはまる(計)」(88.0%)が10ポイント以上高く、「あてはまらない(計)」(12.0%)も10ポイント以上低くなっており、どちらも有意差が認められている。また、年代が上がるにつれて、「あてはまる(計)」は低くなっている。

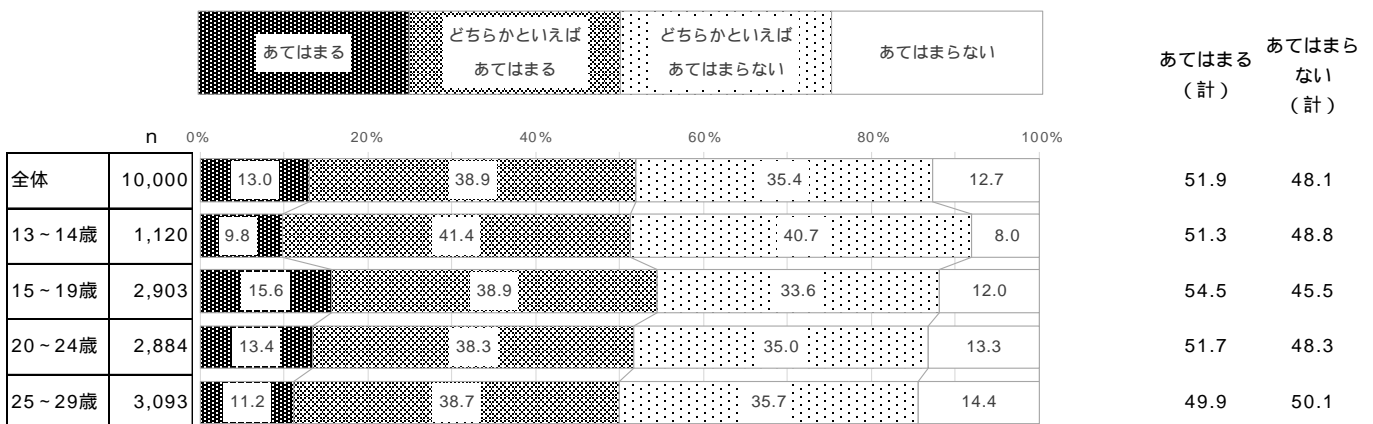


【うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む】

自己診断の【うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまる」(38.9%)。次いで「どちらかといえばあてはまらない」(35.4%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる」は“15～19歳”(15.6%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

一方、「あてはまらない」は年代が上がるにつれて高くなっており、“25～29歳”(14.4%)は全体と比較した結果、有意差が認められた。

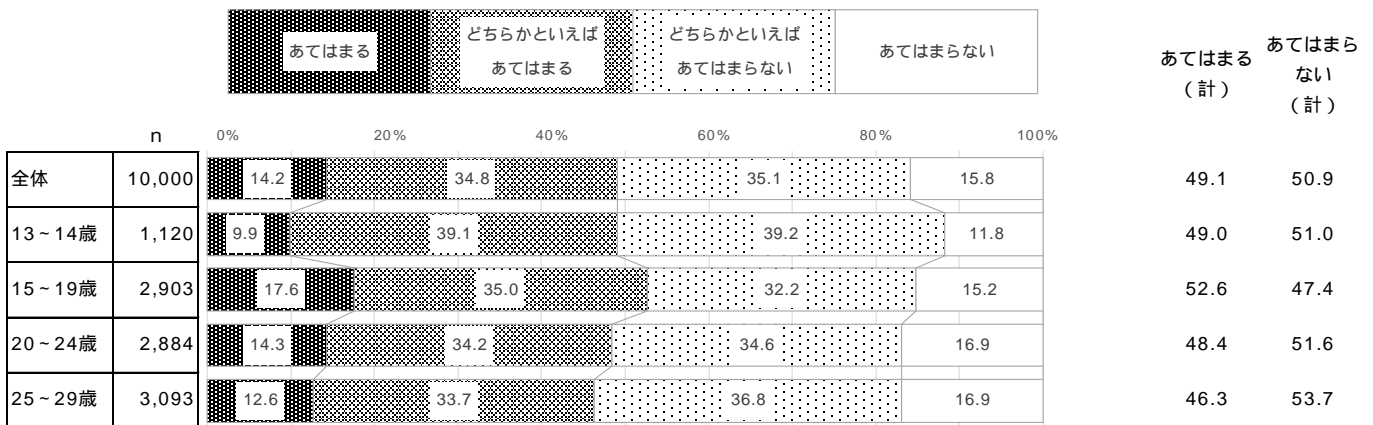


【自分の考えをはっきり相手に伝えることができる】

自己診断の【自分の考えをはっきり相手に伝えることができる】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまらない」(35.1%)。次いで「どちらかといえばあてはまる」(34.8%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる(計)」は“15～19歳”(52.6%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

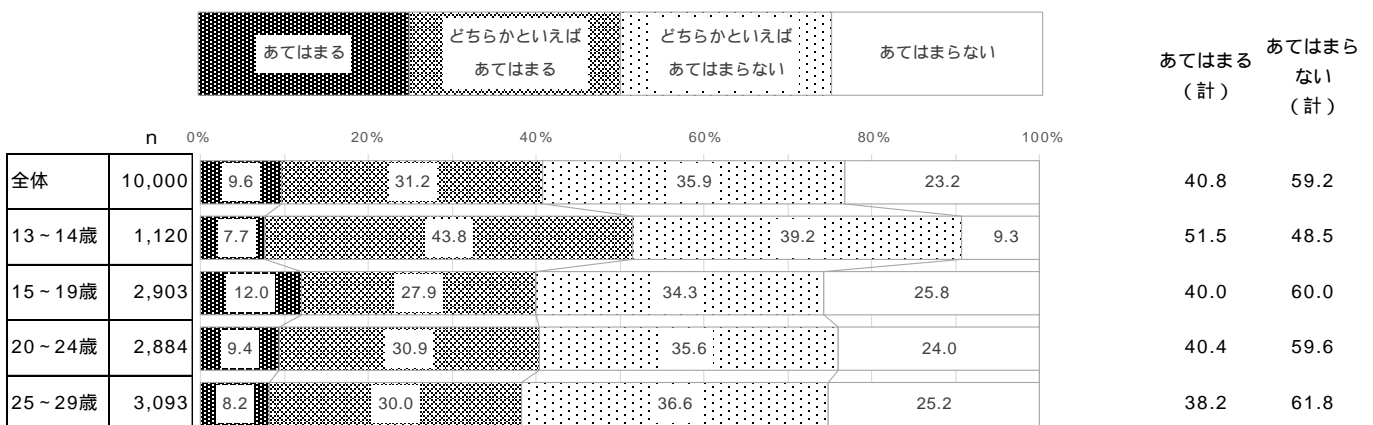
一方、「あてはまらない(計)」は“25～29歳”(53.7%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。



【いまの自分自身に満足している】

自己診断の【いまの自分自身に満足している】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまらない」(35.9%)。次いで「どちらかといえばあてはまる」(31.2%)と続く。

年齢区分別でみると、“13～14歳”は全体と比べ、「あてはまる(計)」(51.5%)が10ポイント以上高く、「あてはまらない(計)」(48.5%)も10ポイント以上低くなっており、どちらも有意差が認められている。

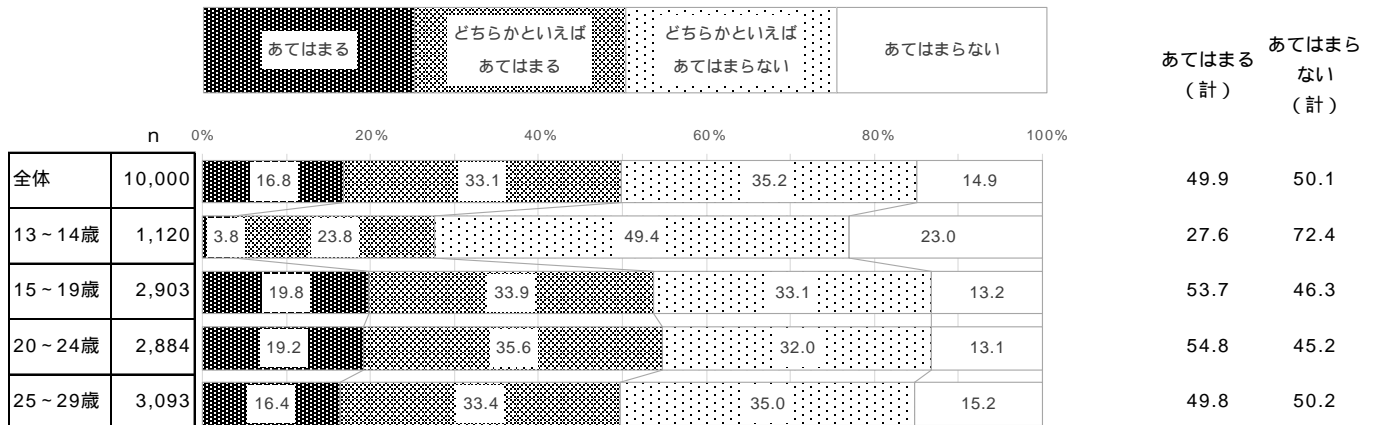


【自分は役に立たないと強く感じる】

自己診断の【自分は役に立たないと強く感じる】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばあてはまらない」(35.2%)。次いで「どちらかといえばあてはまる」(33.1%)と続く。

年齢区分別でみると、「あてはまる(計)」は“20~24歳”(54.8%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

また、“13~14歳”は他の年代と比べ、「あてはまる(計)」(27.6%)が20ポイント以上低く、「あてはまらない(計)」(72.4%)も20ポイント以上高くなっており、全体と比較した結果、どちらも有意差が認められている。



(2) 充実感

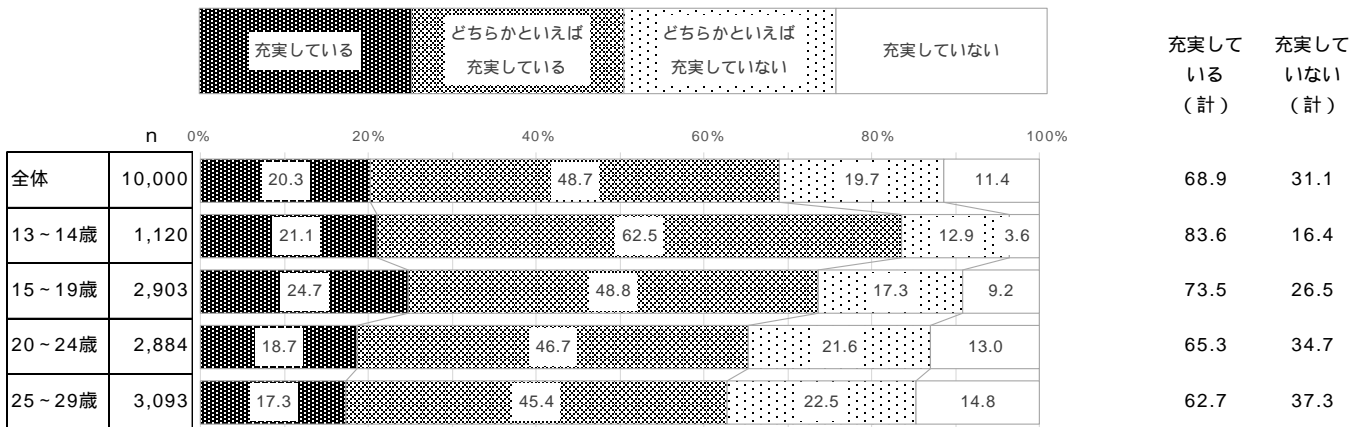
Q2. あなたは、今の生活が充実していると思いますか。あなたの実感をお答えください。[SA]

現在実感している生活の充実度について全体で最も高いのは、「どちらかといえば充実している」(48.7%)。次いで「充実している」(20.3%)と続く。

年齢区分別でみると、「どちらかといえば充実している」は“13~14歳”(62.5%)が全体よりも10ポイント以上高く、有意差も認められている。

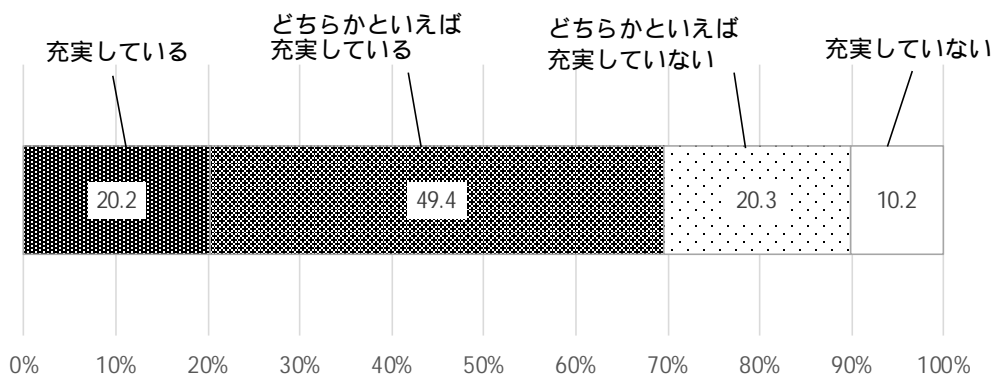
また、「充実している(計)」は年代が若いほど高くなっており、“13~14歳”(83.6%)が最も高くなっている。

過去の調査と比較すると、「充実していない」が1.2ポイント増加しているが、全体的に大きな差は見られない。



<平成28年度調査>

Q. あなたは、今の生活が充実していると思いますか。あなたの実感をお答えください。[SA]

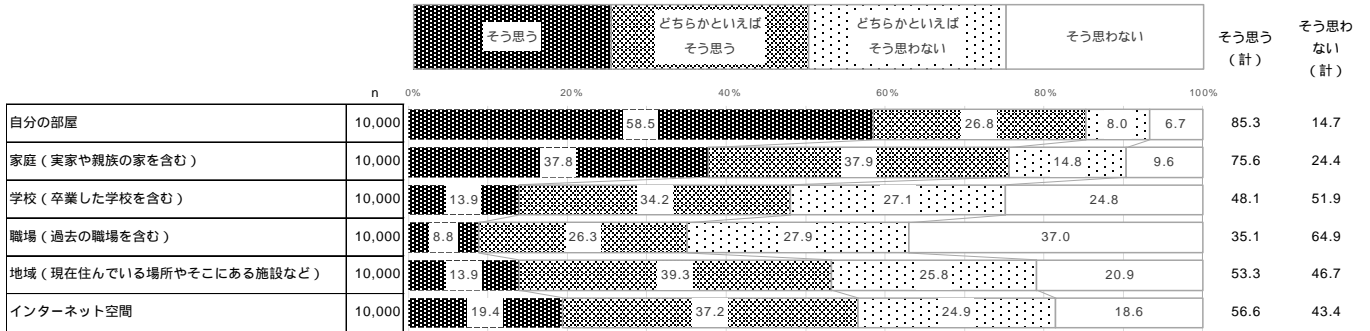


(n=6000)

Q3. 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。[SA]

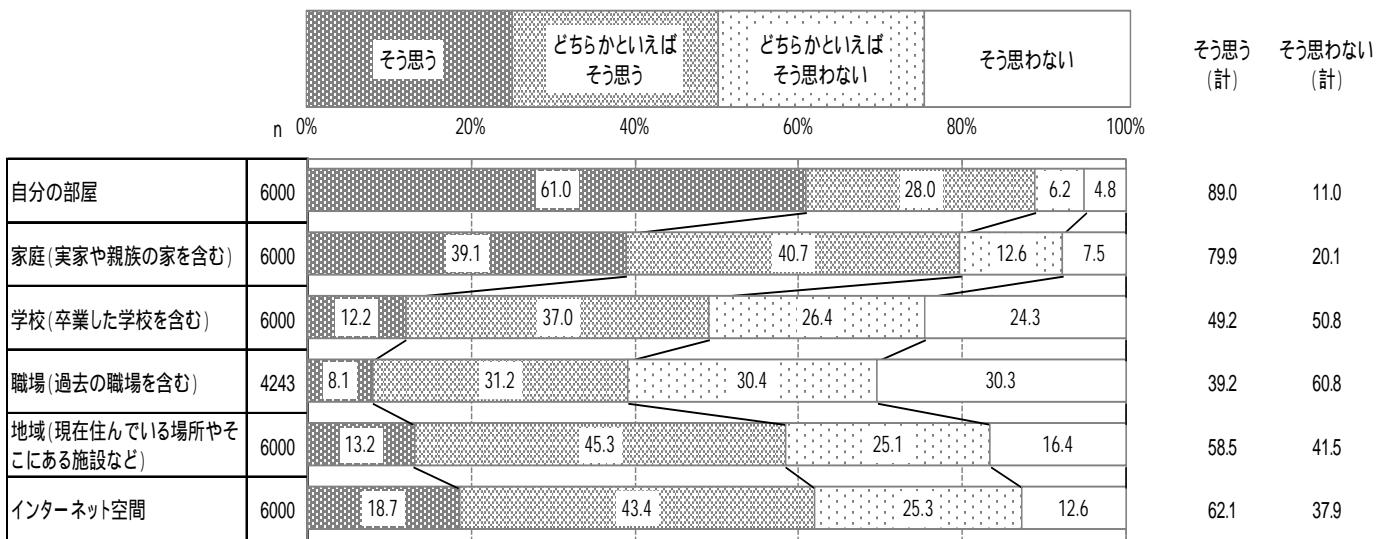
ほっとできる場所、居心地の良い場所として、「そう思う(計)」が最も高いのは、“自分の部屋”(85.3%)。次いで“家庭(実家や親族の家を含む)”(75.6%)、“インターネット空間”(56.6%)と続く。

過去の調査と比較すると、「そう思わない(計)」は、全ての項目において増加しており、“地域(現在住んでいる場所やそこにある施設など)”と“インターネット空間”は5ポイント以上増加している。

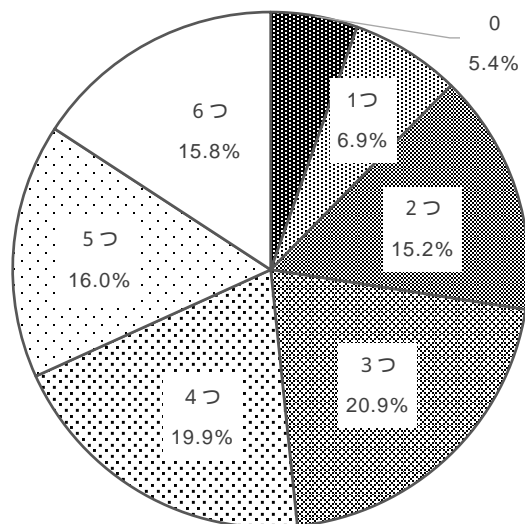


<平成28年度調査結果>

Q. 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。[SA]



Q3の質問に対して、「そう思う(計)」と回答した場の数をみると、居場所であると感じている場の数の平均は3.5である。

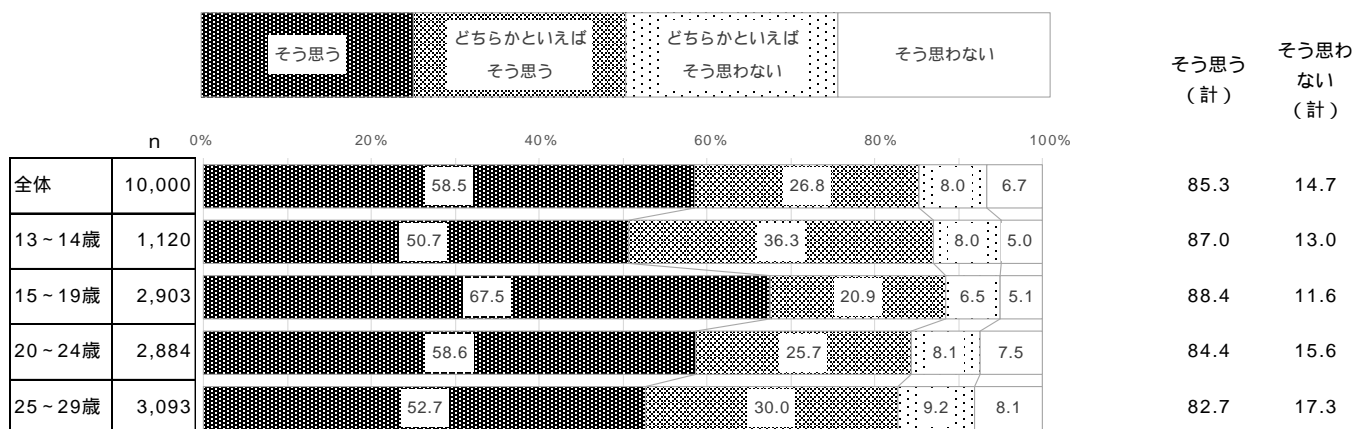


【自分の部屋】

居場所としての【自分の部屋】について全体で最も高いのは、「そう思う」(58.5%)。次いで「どちらかといえばそう思う」(26.8%)と続く。

年齢区分別でみると、「そう思う」は“15~19歳”(67.5%)が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

一方、「そう思わない」は年代が上がるにつれて、高くなっており、“25~29歳”(8.1%)は全体と比較した結果、有意差が認められた。

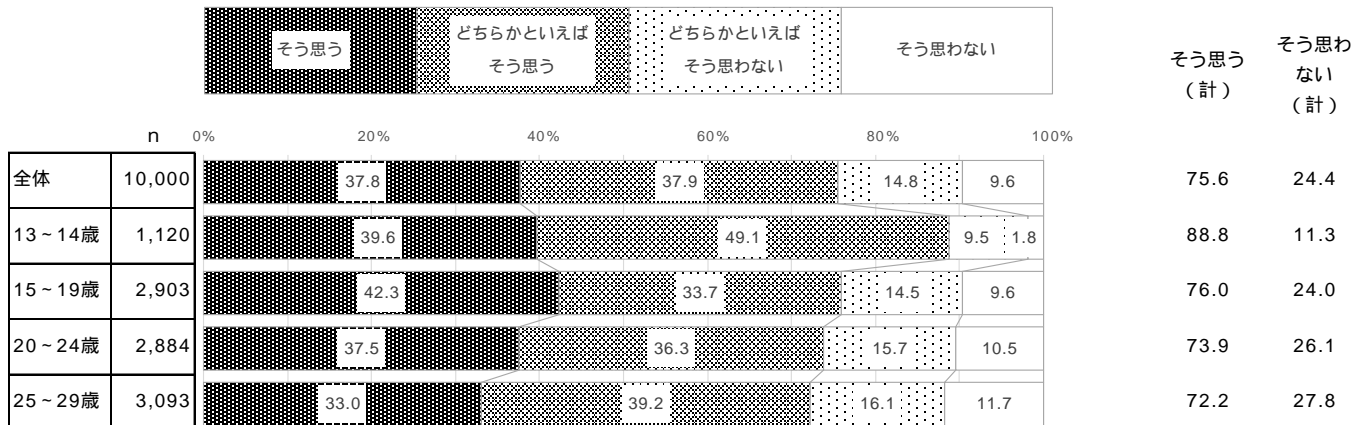


【家庭（実家や親族の家を含む）】

居場所としての【家庭（実家や親族の家を含む）】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばそう思う」（37.9%）。次いで「そう思う」（37.8%）と続く。

年齢区分別でみると、「そう思う」は“15～19歳”（42.3%）が最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。「どちらかといえばそう思う」は“13～14歳”（49.1%）が、全体と比べ10ポイント以上高く、有意差も認められている。

一方、「そう思わない（計）」は年代が上がるにつれて高くなっており、最も低い“13～14歳”（11.3%）は全体よりも10ポイント以上低く、有意差も認められた。

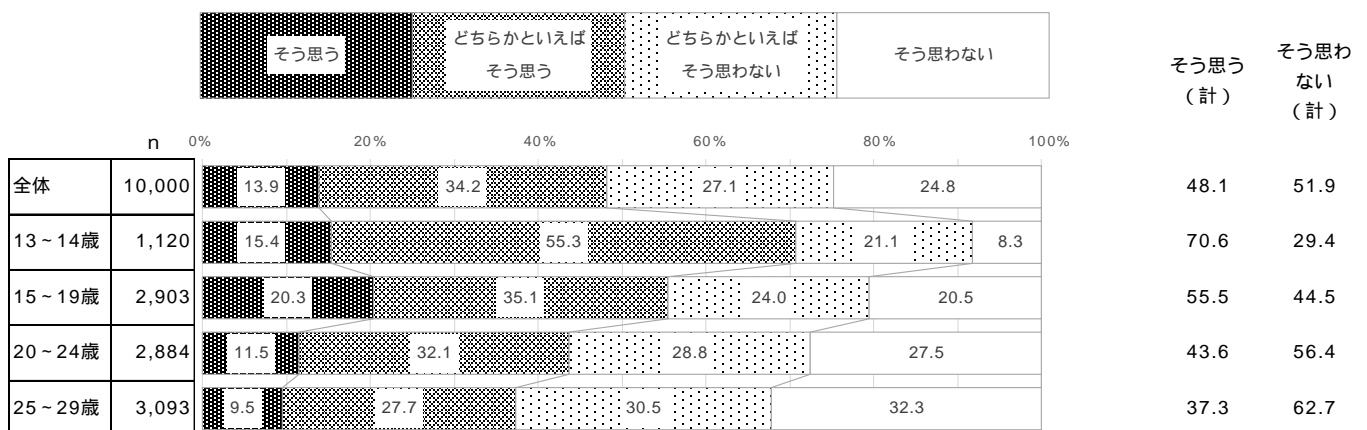


【学校（卒業した学校を含む）】

居場所としての【学校（卒業した学校を含む）】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばそう思う」（34.2%）。次いで「どちらかといえばそう思わない」（27.1%）と続く。

年齢区分別でみると、“13～14歳”は全体と比べ、「どちらかといえばそう思う」（55.3%）が20ポイント以上高く、「そう思わない（計）」（29.4%）は20ポイント以上低くなっており、全体と比較した結果、有意差も認められている。

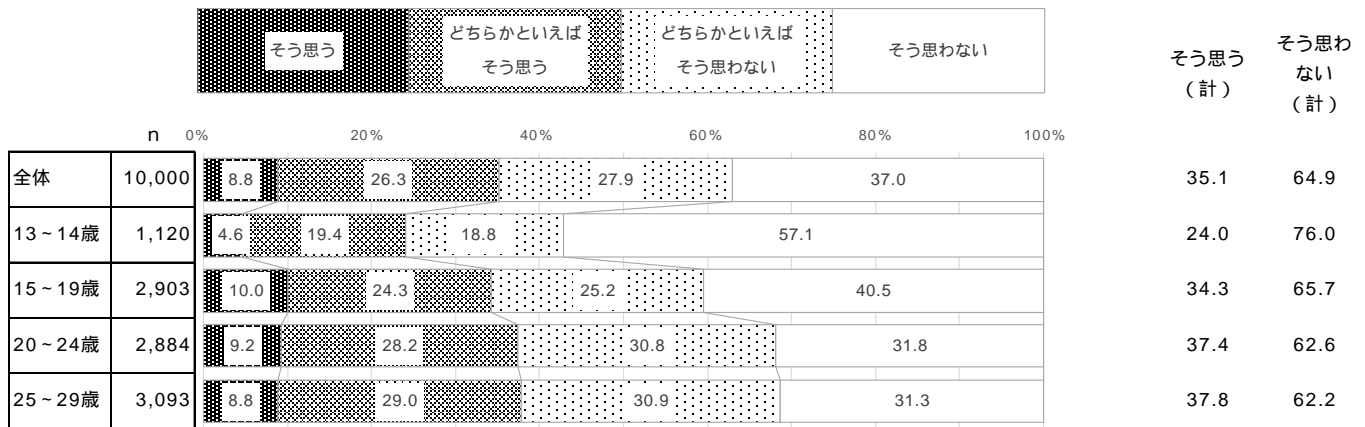
一方、“25～29歳”は、全体と比べ「そう思う（計）」（37.3%）が10ポイント以上低く、「そう思わない（計）」（62.7%）も10ポイント以上高くなっており、全体と比較した結果、有意差も認められた。



【職場（過去の職場を含む）】

居場所としての【職場（過去の職場を含む）】について全体で最も高いのは、「そう思わない」(37.0%)。次いで「どちらかといえばそう思わない」(27.9%)と続く。

年齢区分別でみると、「そう思う（計）」は年代が上がるにつれて高くなっており、“20～24歳”(37.4%) “25～29歳”(37.8%)は、全体と比較した結果、有意差が認められた。

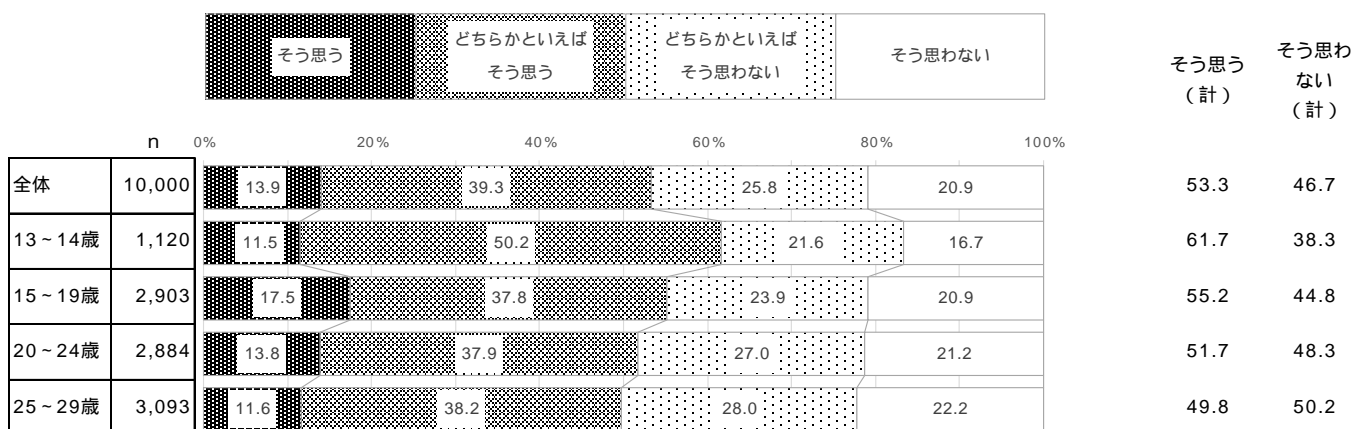


【地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）】

居場所としての【地域（現在住んでいる場所やそこにある施設など）】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばそう思う」(39.3%)。次いで「どちらかといえばそう思わない」(25.8%)と続く。

年齢区分別でみると、「どちらかといえばそう思う」は“13～14歳”(50.2%)が、全体と比べ10ポイント以上高く、有意差も認められている。

また、「そう思わない（計）」は年代が上がるにつれて高くなっており、“25～29歳”(50.2%)は全体と比較した結果、有意差が認められた。

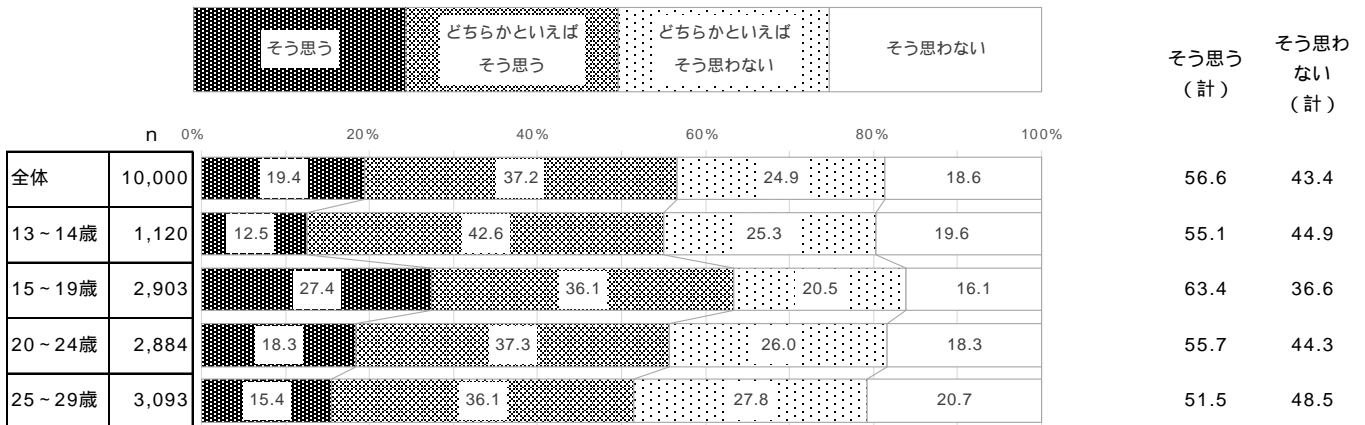


【インターネット空間】

居場所としての【インターネット空間】について全体で最も高いのは、「どちらかといえばそう思う」(37.2%)。次いで「どちらかといえばそう思わない」(24.9%)と続く。

年齢区分別でみると、「そう思う」は“15～19歳”(27.4%)が他の年代と比べ最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。

一方、「そう思わない(計)」は“25～29歳”(48.5%)が他の年代と比べ最も高く、全体と比較した結果、有意差が認められた。



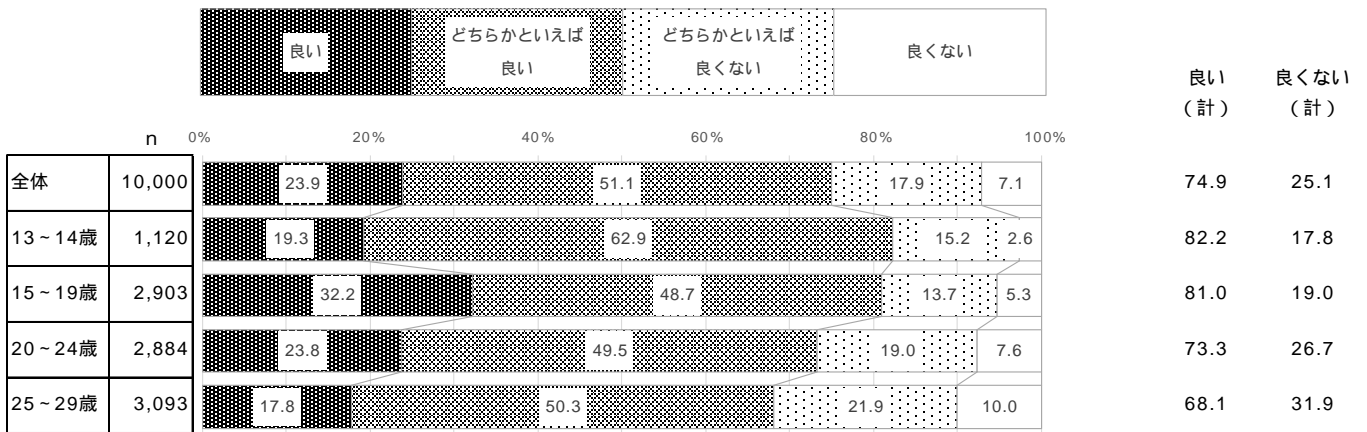
Q4. あなたの家の現在の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べて、次のどれに当たるとお考えですか。あなたの実感をお答えください。[SA]

現在の衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準について全体で最も高いのは、「どちらかといえば良い」(51.1%)。次いで「良い」(23.9%)と続く。

年齢区分別で見ると、「どちらかといえば良い」は“13～14歳”(62.9%)が、全体と比べ10ポイント以上高く、有意差も認められた。

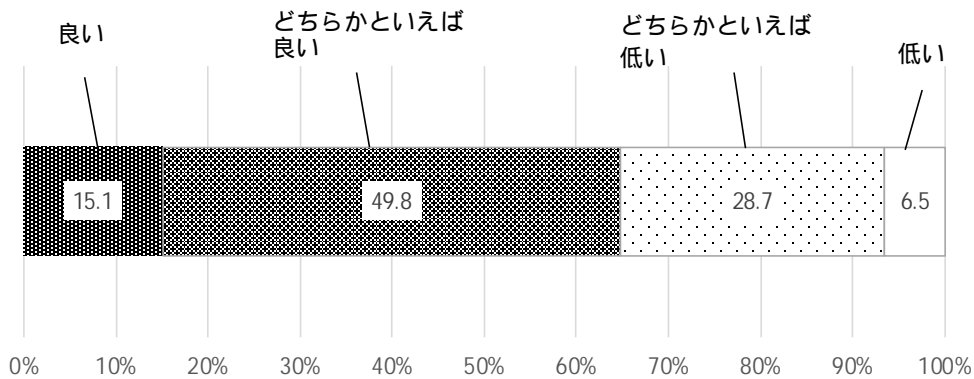
また、年代が上がるにつれて、「良い(計)」は低くなっている。

過去の調査と比較すると、「良い(計)」は10.0ポイント増加しており、「どちらかといえば良くない」は10.8ポイント減少している。



<平成28年度調査結果>

Q. あなたの現在の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べて、次のどれに当たるとお考えですか。あなたの実感をお答えください。[SA]



(n=6000)